

# 鞍手町教育大綱

令和4年5月

## 鞍手町教育大綱

国際化や少子高齢化が進展する中、Society5.0の実現に向けて、人口知能（AI）やビッグデータの活用などの急速な技術革新や多様な人材による様々な働き方が求められるようになるなど、社会環境は大きく変化している。また、コロナ禍に伴う新しい生活様式への転換が進み、数年前には予想できなかった状況が続いている。

誰もが今後の社会を見通せない時代において、将来を担う子どもたちには、自ら学び、自ら考え、より良く問題を解決する資質や能力、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性とレジリエンスを身に付け、たくましく生きるために「生きる力」を育む教育が重要である。

教育は、個人の成長を促し、心を豊かにするものである。ニーズに応じて学ぶ機会を提供し、教育の場を確保するなど教育の充実に向けた指針とするため、第5次鞍手町総合計画後期基本計画の教育部門を踏まえ、本教育大綱を策定する。

### ○ たくましく生きる力を育む学校教育の充実

子どもたちに、調和のとれた「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を身に付けさせるとともに、「主体的・対話的で深い学び」が実現する教育を進め、必要に応じて支援を行う体制を整えるなど、学校・家庭・地域が連携して成長を見守り育ていく環境を整える。

また、健やかな体を育成するために、スポーツの楽しさを体感させながら体力や運動能力を高める取り組みを推進する。

併せて、子どもの中に健全な食生活を確立することが、生涯にわたり健全な心身を培い豊かな人間性を育む基礎となることから、食育の充実を図る。

### ○ 多様性を尊重する意識の醸成

礼節を重んじる心、周りの人へ感謝する心、正義感や公正さを重んじる心をそなえ、様々な違いを受け入れ多様性を尊重することが、差別のない社会の構築につながることから、道徳教育や人権教育を通して、その意識や実践的な行動力を育てる。

### ○ 誰もが生涯学び、活躍できる社会教育の推進

人生100年時代と言われる中、誰もが生涯にわたり、学びたいときに学び、スポーツを楽しみ、芸術文化に親しむなど、目的を持って生き生きと活躍できる環境の充実を図る。

併せて、本町が誇る豊かな歴史文化や豊富な地域資源をしっかりと守り、未来に継承していくため、文化財保護の意識を高めるとともに、活用を推進する。

### ○ 教育環境の整備

子どもたちが多くの友人と切磋琢磨し、共に学べる環境づくりを進めるとともに、ICTの活用や地域との連携・協働に対応した施設整備を充実させる。